

平成 23年度 山梨県立甲府城西高等学校学校評価報告書

学校目標・経営方針	自己の課題に積極的に取り組み、創造性あふれる個性豊かな生徒を育成する。
-----------	-------------------------------------

教職員・生徒・保護者による評価						
番号	重点目標・評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	方策の評価指標	年度末評価(2月17日現在)		
				自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	積極的に学ぶ生徒を育成する	<p>自ら学び、考える力を育成するため、学習指導の工夫・改善に努める。</p> <p>基礎的・基本的な学力を身につけさせ進路実現に結びつける。</p> <p>体験的な学習を重視し、個性の伸長を図る。</p>	<p>教員同士の授業見学期間の設定</p> <p>実力診断テストの実施、課外の充実</p> <p>産社・総学における体験的学習の充実</p>	<p>・昨年度に引き続き相互授業参観を実施した。参観者数は延べ94名(昨年度比+20)で、自他の教科を問わず成果を上げた。</p> <p>・模試と対策課外・VOD課外・進路希望別作文小論文指導等の課外を実施し、進学就職共に良好な成果を上げた。</p> <p>・インターンシップ・交流学習(支援学校・高大連携)等、希望者・年次ごと・系列ごとに体験的学習の機会を設けた。</p>	B	<p>・実施方法の工夫をしなが来年度も継続して相互授業参観を実施する。</p> <p>・「わかりやすい授業」「熱心な学習指導」の生徒保護者評価は前年度よりも上昇したが、「授業改善工夫」の教員評価とのギャップはまだある。さらなる授業改善や工夫に努める。</p> <p>・模試や課外の精選・実施方法の改善を行い、継続して充実を図る。</p>
2	規範意識を向上させ、社会性を高める取り組みを実践する	<p>自己を正しく理解し、在り方・生き方について考えさせる取り組みを実践する。</p> <p>基本的な生活習慣を確立させる。</p> <p>集団生活のルールやマナーを身につけさせる。</p>	<p>各種講話の実施及び作文指導</p> <p>遅刻指導、あいさつ運動の充実</p> <p>服装頭髪指導、下校指導の実施</p>	<p>・新たな時制と40分登校の浸透で生徒の自覚が高まり、遅刻数が減少している。</p> <p>・職員の同一歩調と共通理解・認識での服装頭髪指導で大きな成果があがり、キョロトスカートセーターの導入で短いスカート丈の生徒が減り、校内が落ち着いた雰囲気になりつつある。</p> <p>・問題行動の減少と対照的に交通事故件数が増加傾向にある。</p>	B	<p>・登下校時指導を随時行い、安全啓発・服装指導とともに、本校生としての自覚と事故防止の啓発を行う。雨合羽の完全着用を目指し、二輪車事故防止を呼びかける。</p> <p>・全職員での生徒指導に温度差が生じることのないよう研修会等を行い、共通認識に基づいた適切な指導を今後も心がける。</p>
3	心身を鍛え、豊かな人間性を育む取り組みを実践する	<p>健康と安全に対する意識を深める取り組みを実践する。</p> <p>部活動を活発にして、豊かな人間性を育む。</p>	<p>保健講話、生指講話の実施</p> <p>生徒会オリエンテーション、部紹介の充実</p>	<p>・1年次スタートアップ教育「体のリズムを知ろう」、2年次「薬物乱用防止講話」、3年次集立教室「性教育ピアカウンセリング」を行った。</p> <p>・保健室入室者は昨年度より増加したが、養護教諭加配によりスムーズに対応できた。</p> <p>・体育局文化局ともに活動実績が伸びてきている。</p> <p>・部活動を通して社会に通じる人間形成を強力に図る必要がある。</p>	B	<p>・保健だよりの発行・家庭送付により健康指導を強化したい。</p> <p>・年次と保健室が相互の情報を「密に必ず」提供・共有し、危機管理機能の向上を図る。</p> <p>・入部率向上を目指す。(特に文化局・女子生徒)</p> <p>・部活動一斉清掃、部集会を計画的に実施し、部活動所属生徒を中心に「豊かな人間性」を育成する。</p>
4	社会の問題を意識し、積極的に関わる取り組みを実践する	<p>総合的な学習やLHRを活用し、個々の進路を意識させる。</p> <p>我が国の文化や伝統に触れ、大切にすることを向上させる機会を設定する。</p> <p>地域社会及び世界の諸問題に目を向けさせる取り組みを実践する。</p>	<p>年次・学級単位での計画立案</p> <p>産社・総学における計画立案</p> <p>屋学習でNIE導入</p>	<p>・「産業社会と人間」「総合的な学習」において、社会問題に関する講話等、多くの社会人から多大な協力が得られ、生徒の成長に寄与した。「産社」「総学」については、保護者で62.5%、生徒で73.5%が肯定的にとらえ、有益であると感じている。</p> <p>・屋学習は基礎学力やコミュニケーション能力の向上のために使われ、NIEは導入できなかったが、1年次の「産社」で講師を招き、「新聞を読む(NIE)」を実施できた。</p>	B	<p>・「産社」「総学」「課題研究」「LHR」等の内容を引き続き研究し、実施内容の改善を図る。</p> <p>・多方面にわたる社会人講師を招聘する。</p>

学校評議員による評価	
実施日(平成24年2月27日)	
評価	意見・要望等
3	<p>・総合学科高校であるので、進路希望によって相当学力差がある。一層の学習指導の工夫が必要である。</p> <p>・企業を取り巻く社会構造が大きく変化している。この現実を肌で感じさせるためのインターンシップの一層の充実を望む。</p> <p>・就職希望者だけでなく、多くの生徒が経験すべき大切なことである。インターンシップの振興を進めて欲しい。</p> <p>・「産社」「総学」の計画・内容ともによく研究し、計画されている。そのため良好なライフプランが作られている。</p> <p>・「わかりやすい授業」の評価が20%アップしたことは、努力の結果であると思う。</p>
3	<p>・毎回特色ある講師の招聘は、自己理解・生き方・在り方を考える上で成果を上げている。作文指導も成果を上げている。</p> <p>・自転車走行で信号無視をよく見かける。この行為は他校でも見られるが、お互いに注意したい。</p> <p>・いちやまマートの角を横切る生徒が多く見られ、危険である。指導をお願いしたい。</p> <p>・遅刻指導・挨拶運動について、保護者や地域の方々にも協力してもらい、一層の改善・充実を図る。</p> <p>・服装や頭髪の乱れは学校の評価につながる。校長を先頭に全校態勢で取り組む。一部の生徒の実態により、必ずしも評判は良くない。</p>
3	<p>・校内が明るく、生徒が伸び伸びしている。</p> <p>・清潔でさわやかな高校生のイメージ作りが大切である。(特に女生徒への徹底)</p> <p>・既存の部の活動に加え、アーチェリー・レスリングなどの新しい部の台頭が頼もしい。</p> <p>・女子の入部率が低いことに関しては、入部しない理由等アンケート調査をしてはどうか。</p>
3	<p>・避難所の活用方法も含め、地域と連携した防災訓練を検討して欲しい。</p> <p>・日常的に学校と地域がつながっていることが大切である。</p> <p>・「意識づけや意識を向上させる機会を創設する」上にとって、具体的な実践の内容・方法を明示し、実行することが必要である。</p>

* 達成度:教職員・生徒・保護者による学校評価アンケート結果の平均値に基づき、示した。
A:ほぼ達成できた。(8割以上) B:概ね達成できた。(6割以上) C:不十分である。(4割以上) D:達成できなかった。(4割以下)

* 評価:学校評議員の学校評価アンケート結果による
4:良くできている。3:できている。2:あまりできていない。1:できていない。

※平成24年度学校評価も、学校目標・重点目標に基づき、実施する。